



業界のイメージや就職などをテーマに行った意見交換会
進室土木科長 進路指導部キ
ヤリア教育推
から黒崎弘司
6名、学校側
長ら3名の計
中村有宏委員
報委員会から
委員長ら3
名、総務・広
同協会の技術
・安全委員会
から玉村清文
委員長ら3
名、総務・広

石川県地質調査業協会 職員と担い手確保や就職
(尾蔵博会長) は21日、
金沢市立工業高校土木科 に関する意見交換会を金
沢市の同校で開いた。

金沢市工高土木科職員と意見交換

地質調査業の知識得る機会を

石川県地質調査業協会

この日は、
ら教職員6名がそれぞれ
出席した。
意見交換では、学校側
から土木科の学習内容の
紹介、協会側から地質調
査業の業務の説明が行わ
れた後、地質調査業界の
イメージ、担い手確保の
ため企業に求めることや
必要な工夫、生徒が就職
先に対して要望している
こと、業界からの情報提
供のあり方をテーマに話
し合った。
この中で、学校側から
地質調査は今後社会的に
ますます必要とされる分

野であるものの、生徒が
具体的な仕事の内容をあ
まり知らず、イメージが
漠然としていると指摘。
例えば、業界で働いてい
る卒業生が学校で話をす
るなど、生徒が地質調査
業の知識を得る機会を作
ってほしいと要望した。
また、小・中学生に対し
てのPR活動も行い、早
い段階から土木の魅力を知
ってもらう機会を設け
ることも提案した。さら
に、企業には仕事内容の
明確化や給与体系など人
生設計の目安となるもの
を示してほしいと要望し
た。協会側は学校側の意
見を踏まえ、今後業界の
積極的取り組みでいく
考えを示した。